

型番	NL-302S-5WA		
お客様	ご住所	〒□□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から	お買い上げ日
		1年	年月日
販売店	住所・店名	TEL. <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>	

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

## 保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
  - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
  - お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
  - 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

- 腐食による故障及び損傷
- プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
- 本書のご提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This guarantee is valid only with in Japan.
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 出張修理は行っていません。

年月日	サービス内容	点検印
・		
・		
・		

## 株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター

TEL: 048-931-3110

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9

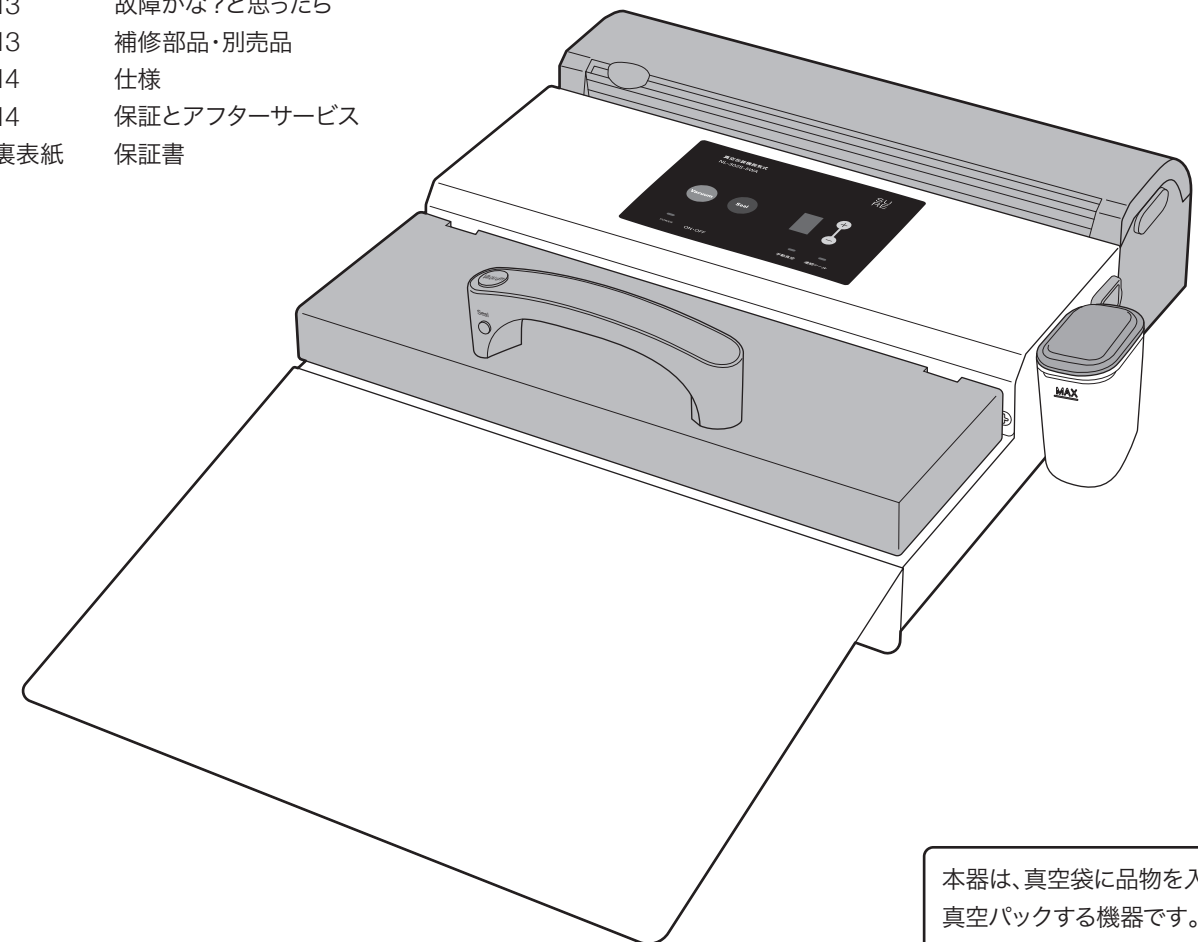
受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時

※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

真空包装機脱気式水タンク付き  
NL-302S-5WA  
取扱説明書

このたびは真空包装機脱気式水タンク付きNL-302S-5WAをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。本器の機能を十分に発揮させて効果的にご利用頂くため、また、安全のためご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に保管してください。

- 01~03 安全上のご注意
  - 03 専用エンボス袋の特長
  - 04 各部の名称
  - 05~06 操作準備
  - 07~10 操作手順
  - 10 お手入れ
  - 11~12 保守点検
  - 13 故障かな?と思ったら
  - 13 補修部品・別売品
  - 14 仕様
  - 14 保証とアフターサービス
- 裏表紙 保証書



本器は、真空袋に品物を入れ、真空パックする機器です。

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の

大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

## 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

## 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

## 警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない、また改造はしない。

感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

火薬・揮発性引火物・燃えやすい物のあるところでは使用しない。

火災、爆発の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・コゲくさい臭いがする。
- ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。



必ず行う

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。

感電の原因になります。



禁止

交流100Vのコンセントを単独で使う。

他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

差込プラグ、接続プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

## 注意

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

フッ素樹脂絶縁粘着テープが破損したまま使用しない。

感電、やけどの原因になります。



禁止

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。

やけど・落下によるけがの原因になります。



禁止

アース線をアース端子に接続し、アースを必ず取る。

感電事故の原因になります。



必ず行う

本体フタとシール部の間に腕や指を挟まない。

やけど・けがの原因になります。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



プラグを抜く

使用中や使用直後はシール部に触れない。

シール部は高温のため、やけどの原因になります。



禁止

カッターの刃に触れない。

けがの原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



濡れ手禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

コードの異常発熱や破損により火災、感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

ヒーターやフッ素樹脂絶縁粘着テープの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。

感電、やけどの原因になります。



必ず行う

## 安全上のご注意 (その2)

### お願い

ご使用前に付属品の袋で真空シールテストを行い、真空シール状態と各部が正しく動作することを確認してください。きれいにできない場合は、再度使用方法をお読みのうえ、設定の確認をしてください。

果実や野菜は調理後、真空シールしてください。果実や野菜は呼吸しているので、生のまま真空シールを行うと、しばらくしてから袋が膨らんできます。

水分の多い食材は、手動真空をご使用ください。必ず付属の水タンクを取り付け、袋の真空状態を確認しながら行ってください。本器内部に水分が入ると故障の原因になります。

真空シールした袋を電子レンジにかけると袋が破裂する場合があります。必ず、袋の一部を開封するかほかの容器に移し替えてからご使用ください。

ヒーター、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴム、パッキンは消耗品です。ご使用前に必ず確認し、消耗している場合は、新品と交換してください。

連続使用の場合は、定期的に本器を休ませてください。連続使用時間は2時間です(ショット間の休みを20秒とした場合)。内部機器が発熱し、真空およびシールの性能が低下すると共に、各部の寿命が短くなります。

そばやパンなど形くずれしやすいものは、手動真空をご使用ください。袋の真空状態を目で確認しながら、形状の変化をみて真空を停止し、シールをしてください。

魚を保存するときは、必ず内臓を取り除いて真空シールしてください。魚の内臓からガスが発生する場合があります。

カニ、エビなどがった食材はペーパータオルなどで包んで真空シールしてください。袋に穴が開くことがあります。

必ず定期点検を年一回を目安に実施してください。

## 専用エンボス付きナイロンポリ袋の特長

本器には2種類の専用エンボス付きナイロンポリ袋が付属しています。片面にエンボス加工が施されていることにより、脱気真空時に内容物の密着が抑えられたり、シール時にフィルム同士が密着してしまうことも防ぐことができるので空気の脱気がよくなり、十分な真空度を求めることができます。本器は専用のエンボス付きナイロンポリ袋以外のご使用いただけません。

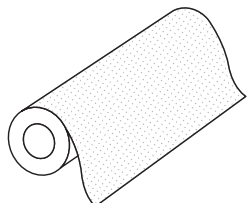
### ロール袋タイプ

付属の専用ロール袋は幅300mm×長さ15mです。ロールボックスにセットし、毎回袋を作成します。内容物の長さに沿って自由に切断できるので、長尺の物まで真空包装をすることができます。

▶ 6ページ

幅200mm×長さ15mの専用ロール袋も販売しております。

▶ 13ページ

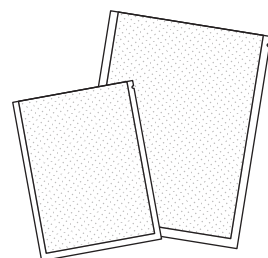


### 一枚袋タイプ

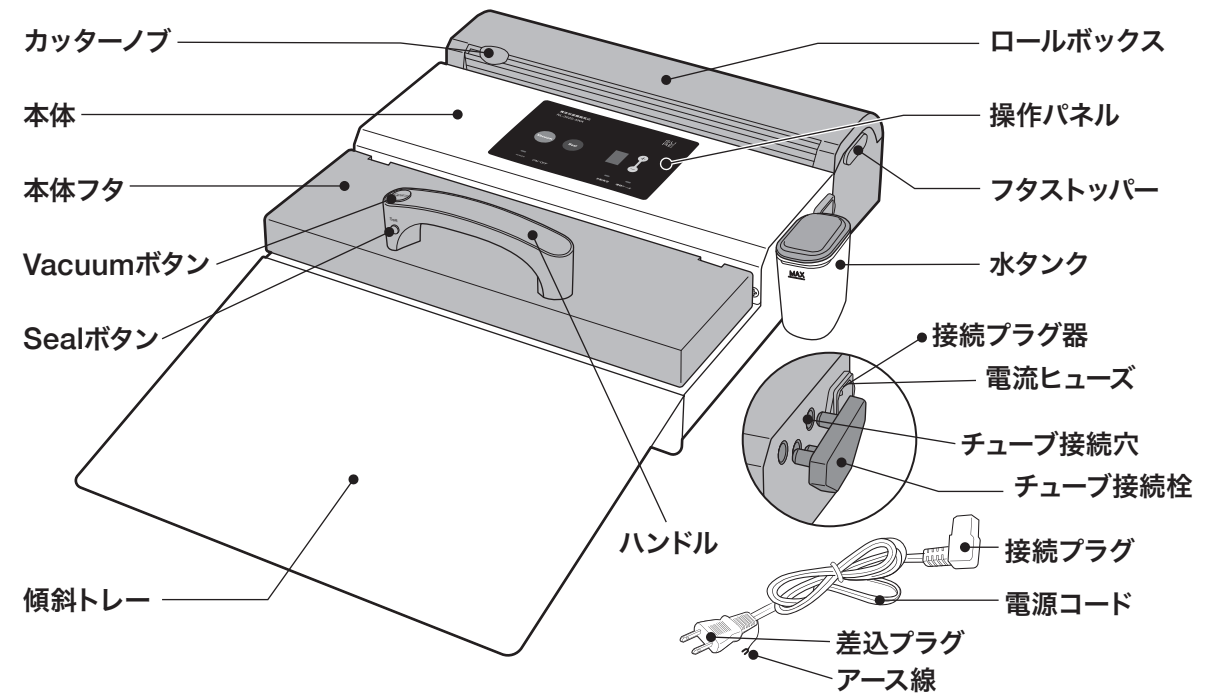
付属の専用一枚袋は幅200mm×長さ300mmと、幅300mm×長さ400mmの2種類がそれぞれ各10枚ずつ付属しています。

他にもさまざまなサイズを販売しております。

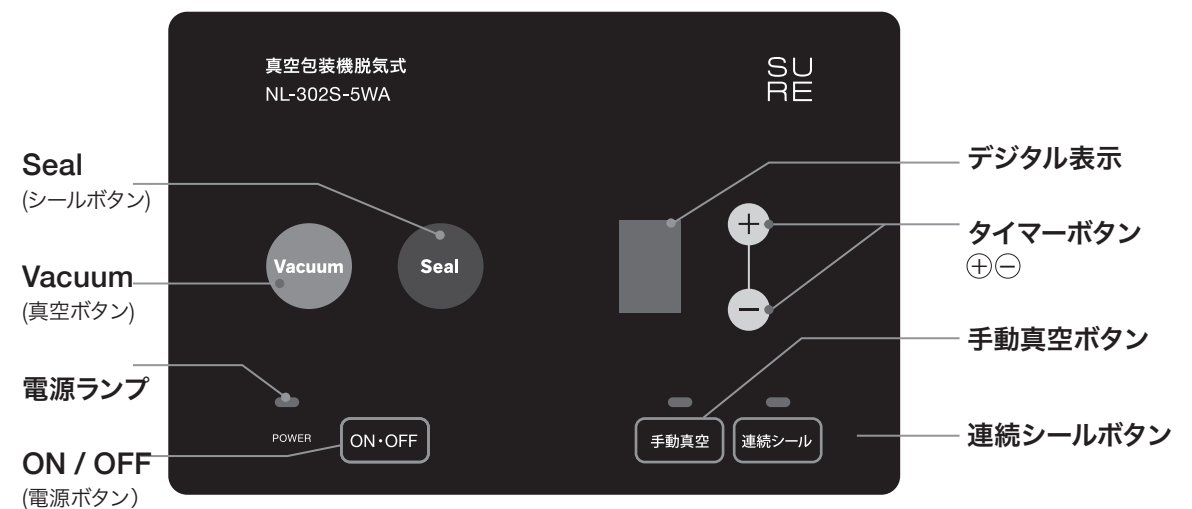
▶ 13ページ



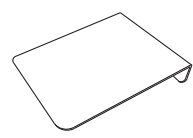

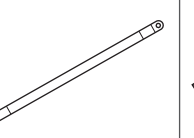
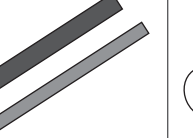
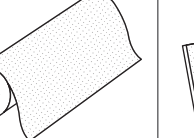
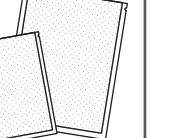
## 各部の名称



## 操作パネルのみかた



## 付属品

 傾斜トレイ 1枚	 水タンク 1個 容量約130cc	 ヒーター 1本	 フッ素樹脂絶縁粘着テープ 黒: 1枚 / 茶: 1枚	 専用エンボス付き ナイロンポリ袋 ロール袋 1本 300mm×15m	 専用エンボス付き ナイロンポリ袋 一枚袋 各10枚 200mm×300mm 300mm×400mm
---	--	--	--	--	--



# 操作準備

## ⚠️ 注意

本器をご使用の際は、専用のエンボス付きナイロンポリ袋をご使用ください。  
専用袋以外を使用すると、袋内部の空気が上手く抜けず真空状態になりません。

## 用途と真空方法

真空包装する用途に合わせて操作モードを選択します。

用途	モード	ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●水気のないもの</li> <li>●適度な固さがあり、角がないもの (例) 干しいたけ、イモ、にんじん、とうもろこし 種子などの食材</li> </ul>	自動真空シール または 手動真空シール ※シール時間の目安: 3秒	7ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●水状のもの、水などの液体を含むもの (例) 白菜漬け、紅しょうがなど</li> </ul>	手動真空シール ※真空槽トレーを外す ※シール時間の目安: 4~6秒	8~9ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●水気のあるもの</li> <li>●柔らかいもの</li> <li>●粉がついているもの (例) カレー、シチュー、マリネ、ソース、ピクルス 魚や肉(生・冷凍)、煮物、生麺、トマト、果物 こんにゃくなど</li> </ul>	手動真空シール ※シール時間の目安: 3秒	8~9ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>●真空をしないで袋溶着(シール)のみするもの</li> </ul>	連続シール または 手動真空シール ※シール時間の目安: 3秒	10ページ

## 本体準備

01. 本体を安定した作業のしやすい場所に置く

02. 付属の水タンクを本体に取り付ける

本体のチューブ接続栓を外し、チューブ接続穴に付属の水タンクを根元まで差し込みます。(図1)

03. 接続プラグを本体に、差込プラグをコンセントに差し込む

差込プラグを100Vのコンセントに差し込み、アース線をコンセントのアース端子につなぎます。

電源ランプが点灯します。(図2)

図1

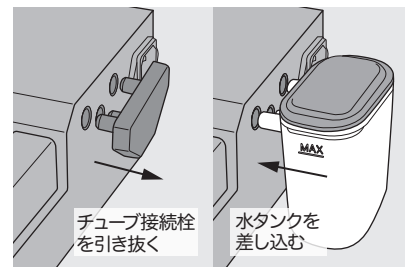
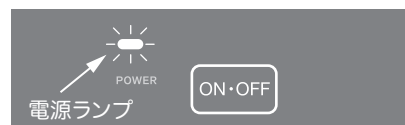


図2

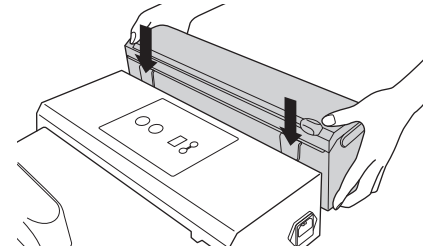


## 専用ロールから必要な長さの袋を作る

01. ロールボックスを取り付ける(図3)

本体後部の2ヶ所のロック部分に付属のロールボックスを取り付けます。

図3



02. 必要な長さのロール袋を切り取る

①ロールボックス両側のファストッパーのロックを解除します。(図4)

②フタを開け、付属の専用ロール袋を必要分引き出します。カッターノブを端に寄せてフタを閉じ、フタをロックします。

⚠️ ロールボックスのフタ裏側下方向に刃が出ているので使用時はケガにご注意ください。

③カッターノブをスライドし、ロール袋をカットします。(図5)

図4

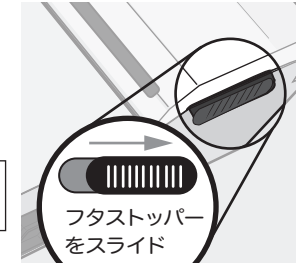
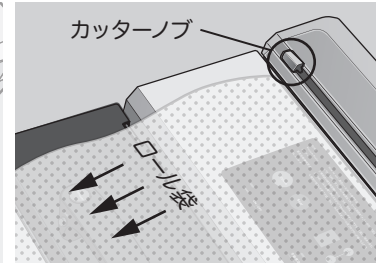


図5



03. 電源を入れる

ON・OFFボタンを押すと内部ファンが動作し、シール時間が表示されます。タイマーボタン(+)(-)を押して、シール時間を設定します。

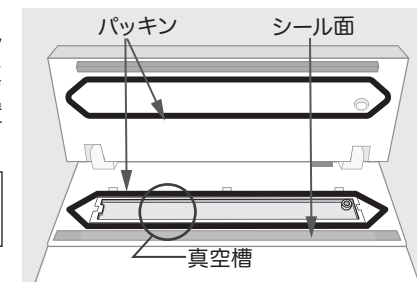
⚠️ 専用ロール袋のシール時間の目安は3秒です。

04. 袋をセットする

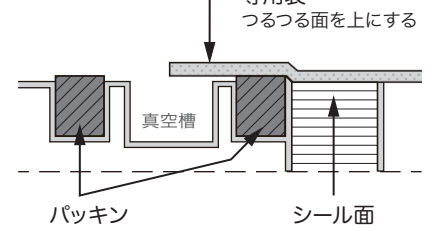
本体フタを開け、02.でカットした専用ロール袋の切り端が真空槽の中央付近になるように置き、本体フタを閉めます。(図6)

⚠️ 袋はつるつるした面を上にしします。

図6



真空槽断面図



05. 袋の底をつくる

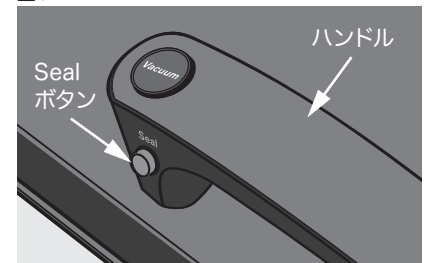
ハンドルを軽く下方に押しながら、操作パネルまたはハンドルのSealボタンを押します。「ピー」と音が鳴ったらシール完了です。

本体フタを開け、袋を取り出します。(図7)

⚠️ シール中(数字がカウントダウンしている間)は、フタを押さえ続けてください。フタを押さえないと、うまくシールができません。

⚠️ Sealボタンを押すと、真空ポンプが動作しますが、シールの仕上がりを確実にするための動作です。

図7



本器は自動真空シール、手動真空シール、連続シール(シーラー)の3通りのシール方法を選べます。

## 全自動で真空する: 自動真空シール 自動で真空包装をします。

### 01. 電源を入れる

ON・OFFボタンを押すと内部ファンが動作し、シール時間を表示します。

⚠ ON・OFFボタンを押した後、操作をしないと約10分後にデジタル表示が消灯し、ファンが停止します。

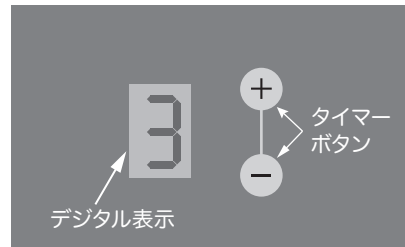
### 02. シール時間を設定する

タイマーボタン(+)(-)を押して、シール時間を設定します。(図8)

⚠ 始めに表示されるシール時間は前回のシール設定時間です。

⚠ 専用エンボス袋のシール時間の目安は3秒です。時間は0~6秒まで、1秒間隔で設定できます。

図8

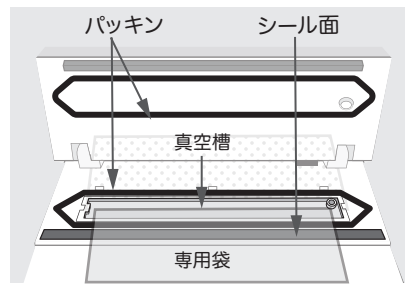


### 03. 袋をセットする

本体フタを開け、保存物を入れた専用袋の切り端を真空槽の中央付近に、しわにならないように置き、本体フタを閉じます。

⚠ 袋はつるつる面を上に乗せます。(図9)

図9



### 04. 真空を開始する

操作パネルのVacuumボタンまたはハンドル上部のVacuumボタンを押し、真空を開始します。(図10)

真空ポンプが始動したら、軽くハンドルを下に押えます。

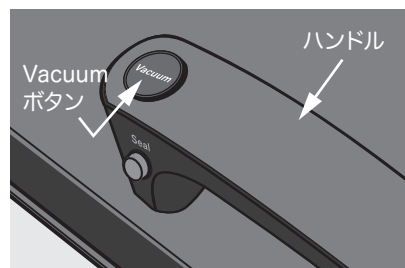
脱気し始めたら、ハンドルから手をはなします。

デジタル表示が9から0までカウントダウンした後、シール時間をカウントダウンします。

⚠ 途中で、Sealボタンは押さないでください。Sealボタンを押すと真空動作が停止し、シール動作に移行してしまい、十分な真空が得られません。

⚠ デジタル表示が2より下がらない場合は真空度が不十分と判断し、シールに移行できません。その場合約30秒間放置し、自動停止させるか、ON・OFFボタンを押して動作を停止させます。専用袋やパッキンの損傷がないことを確認し、再度袋をセットしてください。

図10



### 05. シールをする

真空動作が終わるとシールに移行し、「ピー」と音が鳴り、シールが完了します。本体フタを開け、専用袋を取りだしてください。

### 06. 電源を切る

使用後はON・OFFボタンを押します。内部ファンが停止し、デジタル表示が消えたら差込プラグをコンセントから抜きます。

## 真空度を調節しながら真空する: 手動真空シール

### 01. 電源を入れる

ON・OFFボタンを押すと内部ファンが動作し、シール時間を表示します。

⚠ ON・OFFボタンを押した後、操作をしないと約10分後にデジタル表示が消灯し、ファンが停止します。

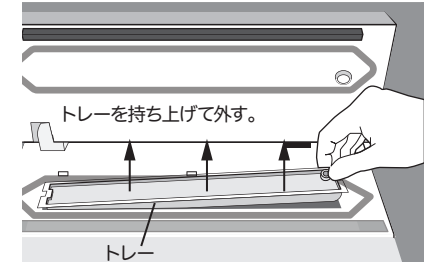
### 02. 真空槽のトレーを外す

本体フタを開け、真空槽に載せてあるトレーを真空槽から外します。(図11)

⚠ 水分の多い保存物を真空包装する場合、必ずトレーを外してください。トレーを外さないで使用すると水分が真空槽からあふれてシールができません。

⚠ 水ものは必ず行う

図11



### 03. シール時間を設定する

タイマーボタン(+)(-)を押して、シール時間を設定します。

※時間は0~6秒まで1秒間隔で設定できます。仕上がり状態により調節してください。

水状のもの、水などの液体を含むもの	4~6秒
水気のあるもの、柔らかいもの、粉がついているもの	3秒

### 04. 手動真空ボタンを押す

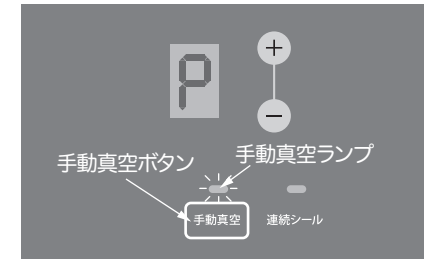
ボタンを押すと手動真空ランプが点灯し、「P」と表示されます。(図12)

※手動真空モードは、ON・OFFボタンを押すか、30秒間操作をしないと解除できます。

⚠ 手動真空ボタンを押した後、操作をしないと約30秒後に手動真空モードが解除され、ランプは消灯します。

⚠ 自動真空モード・連続シールモードで行うと、本体内部に水分が入り、故障の原因になります。

図12

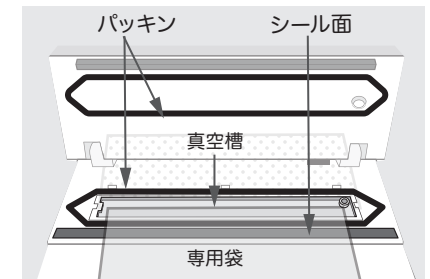


### 05. 袋をセットする

本体フタを開け、保存物を入れた専用袋の切り端を真空槽の中央付近に、しわにならないように置き、本体フタを閉じます。

⚠ 袋はつるつる面を上に乗せます。(図13)

図13

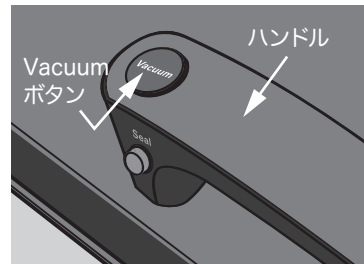


8ページのつづき

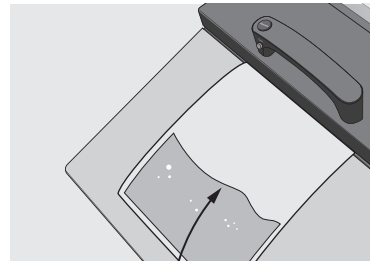
06. 真空動作を開始する

本体フタを閉じ、軽く手でハンドルを下方に押しながら、操作パネルまたはハンドル上部の**Vacuum**ボタンを押します。**Vacuum**ボタンを押している間だけ真空動作します。袋の真空状態を見ながら、ボタンをはなして真空動作を止めます。(図14)

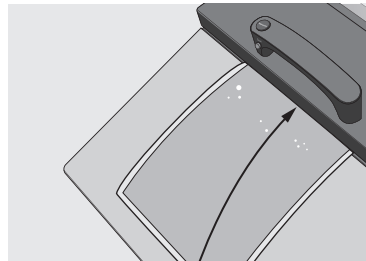
図14



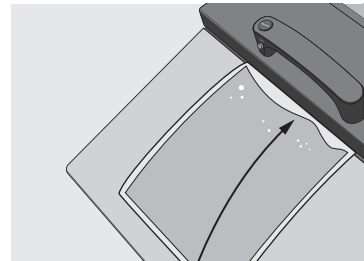
〈袋の状態の目安〉



○ 水分が上がり始めたら Vacuumボタンから手を離す



✕ シール面に水分が流れるまで Vacuumボタンを押し続けな

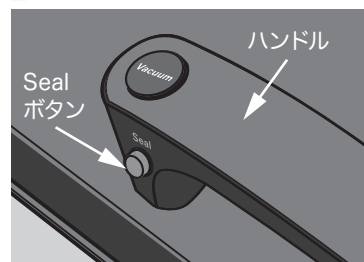


✕ 袋の目一杯まで入れない

07. シールする

**Seal**ボタンを押すと、シールを開始します。デジタル表示がシール設定時間から0になると同時に、真空ポンプが再始動します。シールが終わり、真空ポンプが停止すると「ピー」音が鳴ります。(図15)  
本体フタを開けて袋を取りだします。

図15



⚠ シールしている時、蒸気の発生やジーと音がする場合がありますが、シール面に付着した水分が蒸発する現象で異常ではありません。

⚠ シール面に水分が付着しているとシールが上手くできません。

⚠ 水タンクに貯まった水は本体からタンクを外し、捨ててください。水タンクから水分があふれると本体に逆流する可能性があります、故障の原因となります。

シーラーとして使用する:連続シール

真空をせず、シール包装のみを行うモードです。一般のPE袋、PP袋、アルミラミネート袋も使えます。

01. 電源を入れる

**ON・OFF**ボタンを押すと内部ファンが動作し、シール時間を表示します。

⚠ **ON・OFF**ボタンを押した後、操作をしないと約10分後にデジタル表示が消灯し、ファンが停止します。

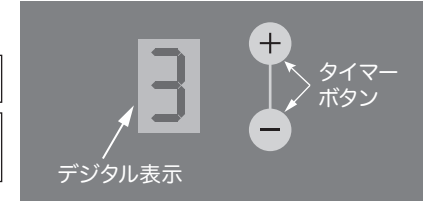
02. シール時間を設定する

タイマーボタン(+)(-)を押して、シール時間を設定します。(図16)

⚠ 始めのシール時間の表示は前回のシール設定時間です。

⚠ 専用エンボス袋のシール時間の目安は3秒です。時間は0~6秒まで、1秒間隔で設定できます。

図16



03. 連続シールボタンを押す

連続シールボタンを押すと連続シールランプが点灯し、「C」と表示されます。(図17)

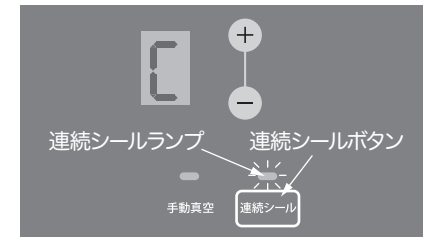
※連続シールボタンを押さなくてもシールできます。

連続シールモードON:本体フタを閉じると自動でシール開始

連続シールモードOFF:本体フタを閉じて**Seal**ボタンを押すとシール開始

※連続シールモードは、**ON・OFF**ボタンを押すと解除できます。

図17



04. シールする

本体フタを閉じるとシールを開始します。その間はハンドルを軽く下に押しします。デジタル表示がカウントダウンし、0になると真空ポンプが動作します。真空ポンプが止まり、「ピー」音が鳴ったら完了です。本体フタを開けて専用袋を取り出してください。袋を取り出したあと次の袋をセットし、本体フタを閉めると再度シールを開始します。

⚠ シール中(数字がカウントダウンしている間)にフタを開けると、「ピー」音が鳴り、「E」と「1」が交互に点滅します。フタを締めると「C」表示に戻ります。再度フタを開けてシールをしてください。

⚠ シール中(数字がカウントダウンしている間)はフタを押さえ続けてください。フタを押さえないと、上手くシールできません。

⚠ 真空ポンプが動作しますが、シール仕上がりを確実にするための動作です。

お手入れ

- 水タンクに貯まった水分は水タンクを本体から外し、捨ててください。真空槽に貯まった水分はキッチンペーパーなどに吸い込ませて除去してください。(図18)
- 糖分や塩などを含む水分は、チューブ内部に付着しますので、次の方法で洗ってください。(図19)

図18

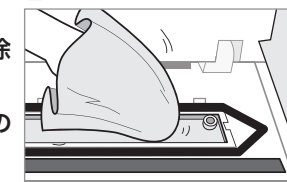
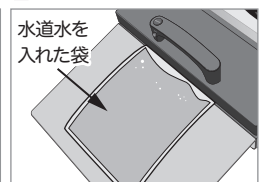


図19



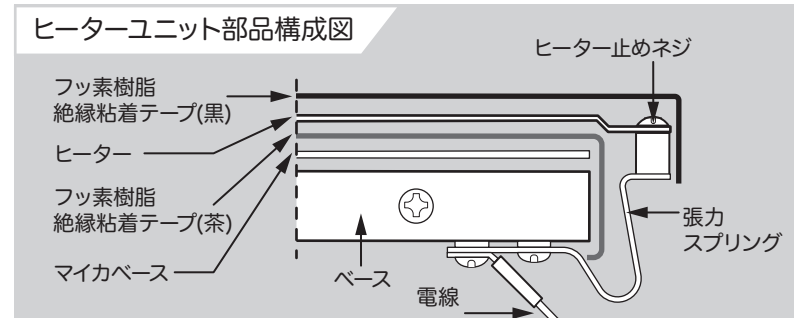
袋に水道水を入れ「**手動真空**」で水タンクの赤線の位置まで水が貯まったら、一度「**手動真空**」を止めて水タンクの水を捨て、同じ操作を2~3回繰り返してください。

タンクから水が溢れると、溢れた水が真空ポンプなどに吸い込まれ、故障の原因となります。



# 保守点検

作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、  
使用直後のときは本体が十分に冷めてから行ってください。



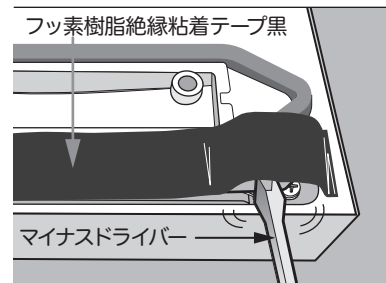
## フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒交換

キズ、破れ、焦げや波打っているなどの症状がでたら交換してください。

### 01.

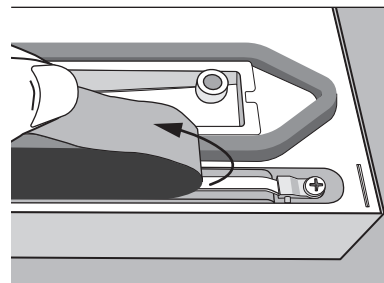
フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒の端下にマイナスドライバーなどの平らな先を差し込み、持ち上げます。

⚠ 下にあるヒーターを傷つけないように作業してください。



### 02.

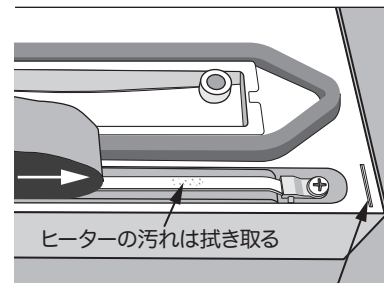
持ちあがった端から剥がします。



### 03.

新しいフッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を貼付けます。

⚠ ヒーター表面に汚れが付いていたらアルコールで拭き取ってください。



## ヒーター交換

断線、凹凸や波打っているなどの症状がでたら交換してください。

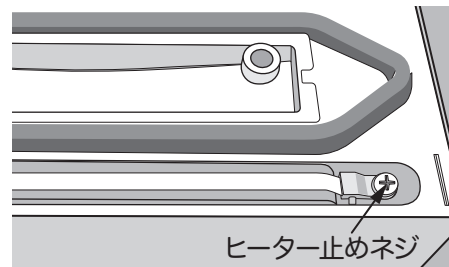
01. フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を外します。

02. ヒーター両側のヒーター止めネジを外し、ヒーターを外します。

⚠ 張力スプリングの反発に注意して作業を行ってください。

⚠ ヒーター止めネジを本体内部に落とさないようにご注意ください。

03. 新しいヒーターを取り付け、新しいフッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を貼付けます。

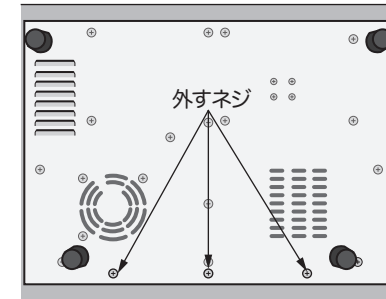


## フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶交換

断線、凹凸や波打っているなどの症状がでたら交換してください。

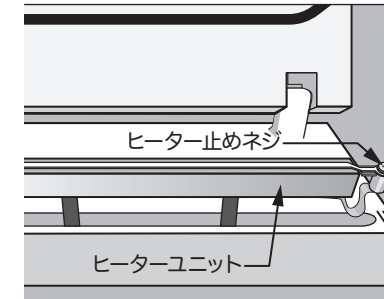
### 01.

フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒の交換  
01.、02. (P11上段) を参照し、フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒を剥がします。  
本体底面のネジ3本(図参照)を外し、ヒーターユニットを緩めます。



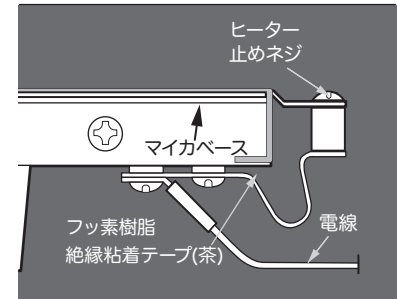
### 02.

緩んだヒーターユニットを本体より上に引き出します。ヒーター両側のヒーター止めネジを外し、ヒーターを外します。  
注: ヒーター交換02.の注意(P11下段)を参照してください。



### 03.

フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶を外し、新しいテープ茶を貼り付け、逆手順02.→01.の作業で完了します。

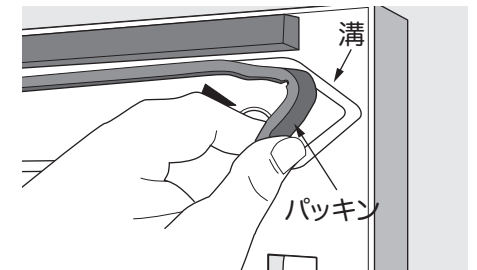


## パッキン交換

キズや裂け目がある、波打っている、表面が硬い、真空状態が弱くなっているなどの症状がでたら、交換してください。

01. 指でパッキンを溝から外してください。

02. 新しいパッキンを溝に均等にはめてください。

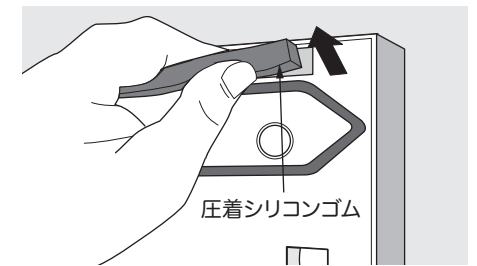


## 圧着シリコンゴム交換

キズや裂け目がある、波打っている、表面が硬い、シール状態が均一でないなどの症状がでたら、交換してください。

01. 指で圧着シリコンゴムを溝から外してください。

02. 新しい圧着シリコンゴムを溝に均等にはめてください。  
注: 網目模様が付いている面が表です。

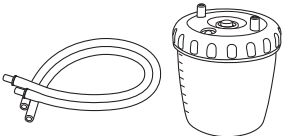


## 故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	症状						原因/処置
	点灯しない	電源ランプが点灯しない	ボタンスイッチが動作しない	真空ポンプが動作しない	真空にならない	シールがきれいにできない	
差込プラグ	●						差込プラグを確実に差し込んでください。
接続プラグ	●						接続プラグを確実に差し込んでください。
電流ヒューズ	●						電流ヒューズを確認し、切れている場合は修理に出してください。
本体フタ				●	●		本体フタがきちんと閉じているか確認してください。
パッキン				●			キズ、裂け、変形などがあれば、交換してください。
圧着シリコンゴム					●	●	キズ、裂け、変形などがあれば、交換してください。
操作パネル	●	●	●				操作パネルを確認して、異常があれば修理に出してください。
ヒーター					●	●	ヒーターの断線、キズ、変色している場合は交換してください。
フッ素樹脂絶縁粘着テープ					●	●	破れ、しわ、ざらつき、変色があれば交換してください。
真空ポンプ			●	●			動作しない、動作するが真空度が上がらない場合は修理に出してください。

## 補修部品・別売品

型番	商品名	入数	エンボス付きナイロンポリ袋 一枚袋タイプ		
			型番	寸法	入数
NPH-300S-5	ヒーター	5本			
NPN-300S-BK	フッ素樹脂絶縁粘着テープ 黒	5枚	PAP-012025-B	W120×H250mm	100枚
NPN-300S-BW	フッ素樹脂絶縁粘着テープ 茶	5枚	PAP-015020-B	W150×H200mm	100枚
NPG-300S	圧着シリコンゴム	1本	PAP-018026-B	W180×H260mm	100枚
NPP-300S	パッキン	2本	PAP-020030-B	W200×H300mm	100枚
OP-MT300	オプション水タンク 接続チューブセット 容量600cc 	1セット	PAP-025035-B	W250×H350mm	100枚
			PAP-030040-B	W300×H400mm	100枚
			エンボス付きナイロンポリ袋 ロール袋タイプ		
			型番	寸法	入数
			PAP-0201500-R	W200mm×15m	2本
PAP-0301500-R	W300mm×14m	2本			

●使用可能温度:-30℃~100℃(ボイル30分)  
●電子レンジ・オープン使用不可

## 仕様

型番	NL-302S-5WA	質量	7.8kg(※1を含む)
定格	100V-630W 50/60Hz	付属品	(※1)傾斜トレー 1枚
シール寸法	幅5mm×長さ300mm		(※1)ロールボックス 1個
接着部温度	250℃		(※1)水タンク 1個
到達真空度	-95kPa以上		(※1)電源コード 1本
シール時間	設定時間0~6秒(1秒間隔)		ヒーター 1本
脱気速度	16ℓ/min		フッ素樹脂絶縁粘着テープ黒 1枚
連続使用時間	2時間		フッ素樹脂絶縁粘着テープ茶 1枚
ショット間休止時間	20秒		専用ロール袋 300mm×15m 1本
製品寸法	幅390×奥行392×高さ150mm	専用一枚袋 200mm×300mm 10枚	
			専用一枚袋 300mm×400mm 10枚

## 保証とアフターサービス

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談  
お買い上げの販売店にお申し付けください。

■修理を依頼されるとき

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いて  
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### ●保証書(裏表紙)

必ず「お買い上げ日、販売店」の記入をご確認の上、  
お買い上げ販売店から受け取り、内容をよくお読み  
の上、大切に保管してください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げ販売店に修理を依  
頼してください。製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料  
で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低  
保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

### ●保証期間:お買い上げ日から1年間

詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

### お客様ご相談センター

TEL: 048-931-3110

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9

受付時間:月~金の9時~12時/13時~17時

※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

### 廃棄処分 について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として取り扱われます。  
専門の業者またはお求めになった販売店にご相談ください。

## 株式会社 石崎電機製作所

### 本社

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

### 東日本営業所

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

TEL.03-5687-7031

### 西日本営業所

〒550-0013

大阪市西区新町1-25-7

TEL.06-6541-3893

### 公式ホームページ



www.sure-ishizaki.co.jp